

## 式 辞

先日、朝ウォーキングで大池公園を歩いていますと、鶯の鳴き声が聞こえました。これぞまさしく遷喬です。

鶯は、冬はやぶや人里近くで、チチッ チチッといった地鳴きしかできませんが、春になると美しく鳴けるようになり、木にとまり、歌いはじめます。それで、周知のことですが、鶯に例えて大学を出て、社会で活躍始めることを古来遷喬といっています。

本日、星城大学 経営学部 145 名、リハビリテーション学部 55 名、大学院 健康支援学研究科修士課程 4 名の皆様は、遷喬の時を迎えました。ご卒業おめでとうございます。

また、本学の教職員・関係者の方々は、大学のなかだけでなく、様々な組織にまで出かけ、時間をかけ苦勞しながらも、日本人の学生、留学生などの育ちを支えて下さいました。本当にありがとうございました。皆様方のお蔭で、今日のよき日を迎えています。

保護者の方々には、ご息女ご子息のご卒業を衷心よりお祝い申し上げます。

本日はご来賓として、学校法人名古屋石田学園 理事長 石田 正城様、東海市副市長 佐治 錦三様、知多市市長 宮島 壽男様、衆議院議員 環境副大臣兼内閣府副大臣 伊藤 忠彦様、東海市議会 議長 早川 直久様、東海市教育委員会 教育長 加藤 千尋様、東海商工会議所 専務理事 下村 一夫様、公益社団法人 愛知県理学療法士会 代表理事 鳥山 喜之様、学校法人名古屋石田学園 星城大学後援会会長 石川 守様、本学の提携校 学校法人愛美学園 啓明学館高等学校 学校長 國井 勝先生、同じく提携校 三重県立津商業高等学校 学校長 西尾雅二先生、同じく提携校 学校法人修文学院 修文女子高等学校 学校長 栗本 整先生、愛知県立東海商業高等学校 学校長 松林 克也先生、学校法人名古屋石田学園 理事 半谷 眞宏様、同理事 眞田 明様、同星城高等学校 学校長 四方 元先生、をはじめ多くのご来賓のご来駕をたまわっております。衷心より御礼申し上げます

卒業生の皆様お座りください。

本日の学位記授与にあたりまして、これまでと大きな違いがあることを、まずは申しあげるべきであると考えます。

私が星城大学の学長を務めていますのは、学校法人名古屋石田学園の理事会の決定を踏まえ、理事長が私を学長に選任して下さったことによっています。その私は、2018年11月3日、瑞宝重光章を受章しました。そして、11月6日 皇居松風の間で、勲記と勲章を拝受し、皇居春秋の間で、同行した妻とともに、今後とも教育研究に励むようにとの趣旨のお言葉をいただき、にこやかな笑顔でのご挨拶を、私も妻もお受けいたしました。そういう意味で、今日ご卒業の皆様方の学位は、他の多くの大学の学位と比較して、類例の希少な格別なものと言えますので、皆様方はそれを自覚して、今後とも星城大学の学士、修士として、それにふさわしい働きをなさっていただきたく存じます。

特に、本日卒業する皆様方は、本学の定めにより、全学部全学生が卒業論文を書いて、「合」の判定をうけて、卒業します。最近では学生数が増えているので、これでは指導の手間が大変だということで、「卒業論文」ではなく「卒業レポート」に代えている大学が多くなっていますが、本学では、そのような安易な妥協をせず、きちんと指導をしますので、良い学生が育ちます。ですから、本学の卒業生に対する企業等の評価も高く、昨年の卒業生についていえば、就職率は、経営学部では100%で、リハビリテーション学部では97.5%でした。

本学では、アメリカなどへ長期留学する学生も多く、英語での集団面接でこそ、自分の良さが光るといっているので、あえて、東京で英語の集団面接に挑戦し、人気の高い外資系企業に採用され、NYでの研修組に選ばれた学生もおります。また、東海市の商工会議所で開催された日本商工会議所会頭の講演会に参加し、多くの経済人や他大学学生のなかで、質問の時間に、勇気のいることですが、第1番に手をあげ、講演者や東海市市長の意見を引き出し、講演を盛り立てた、女子学生も本学の学生でした。

こういう学生の元気で優秀な活躍を見たり聞いたりするものですから、受験生の間での、本学の人気は高くなってきており、入学定員に対する入学生の割合も、かつては経営学部で50%を割り込む年もあったのが、今年も100%を達成しそうになってきています。

なお、最近はとくに、多くの方が、ケネディ元アメリカ大統領が高く評価した、東海市の生んだ細井平洲師とその教えを実践した上杉鷹山公の政治経済政策に興味を示し、平洲師・鷹山公の為政は、現代、世界的に重視されてきている国連のSDGs（サステイナブル・デヴェロップメント・ゴールズ：日本語でいえば、持続可能な開発目標）の先駆だったというタイトルで開催した公開講演会に300人以上が参加し、その中には本学の学生も100名近くに上ったことをみると、本日新しく生まれた学士、修士の方々も、研究に興味を持続していただけるし、優れた研究成果が期待できると、期待しています。

皆様方は、新しい学士号、修士号を取得されました。それを、誇りにして、自信をもって力強く活躍してください。

さあ、めでたい出立です。

ボン・ボヤージュ よき旅を ボン・ボヤージュ

本日は、本当におめでとうございます。

平成31年3月21日

星城大学 学長 赤岡 功